

## 東京湾、伊勢湾及び大阪湾の貧酸素水塊の発生状況

1.	東京湾	頁
(1)	底層の溶存酸素量の分布（平成 15 年）	1
	（出典：貧酸素水塊情報 千葉水産研究センター富津研究所）	
(2)	内湾鉛直縦断面の溶存酸素量分布からみた貧酸素水塊の大きさ（平成 15 年）	3
	（出典：同上）	
(3)	東京湾底層のDO分布（昭和 55 年）	4
	（出典：青潮発生機構解明調査 環境庁 平成 4 年 3 月）	
2.	伊勢湾	
(1)	伊勢湾底層における溶存酸素の分布（平成 15 年）	5
	（出典：伊勢湾貧酸素情報 三重県科学技術センター水産研究部鈴鹿水産研究室）	
(2)	伊勢湾底層における溶存酸素の分布（昭和 42～45 年）	7
	（出典：伊勢湾マアナゴ資源調査 三重県伊勢湾水産試験場 昭和 46 年 3 月）	
3.	大阪湾	
(1)	大阪湾の底層水の酸素飽和度（%）水平分布の変化（平成 14 年）	9
	（出典：平成 14 年度大阪府立水産試験場事業報告）	
(2)	大阪湾の底層水の酸素飽和度（%）水平分布の変化（昭和 50 年）	10
	（出典：同上）	
(3)	大阪湾の底層水の酸素飽和度（%）の鉛直分布（昭和 50 年）	10
	（出典：大阪府立水産試験場研究報告 昭和 61 年 8 月）	

（注）溶存酸素濃度の単位は、出典により異なっており、mg/L、ml/L、飽和度（%）の3種類が使われている。本資料では各出典で用いられている単位をそのまま用いた。

## 東京湾の貧酸素水の状況（平成15年）

千葉県水産研究センター富津研究所は、東京都環境局、内湾底びき網連絡協議会、千葉県環境研究センター、神奈川県水産総合研究所、海上保安庁海洋情報部（千葉灯標の水質監視装置「モニタリングポスト」、平成15年から）と連携し、貧酸素水塊の状況をウェブサイト (<http://www.awa.or.jp/home/cbsuishi/04tokyowan.html>) 等で逐次公開している。

以下は平成15年の貧酸素水塊の状況をまとめたものである。

### 1. 底層の溶存酸素量分布（図1-1～1-2）

貧酸素水塊は一時期3月に発生した。継続的な発生は4月28日に始まり、11月5日まで続いた。平成14年が5月7日～11月5日だったので、ほぼ同期間である。

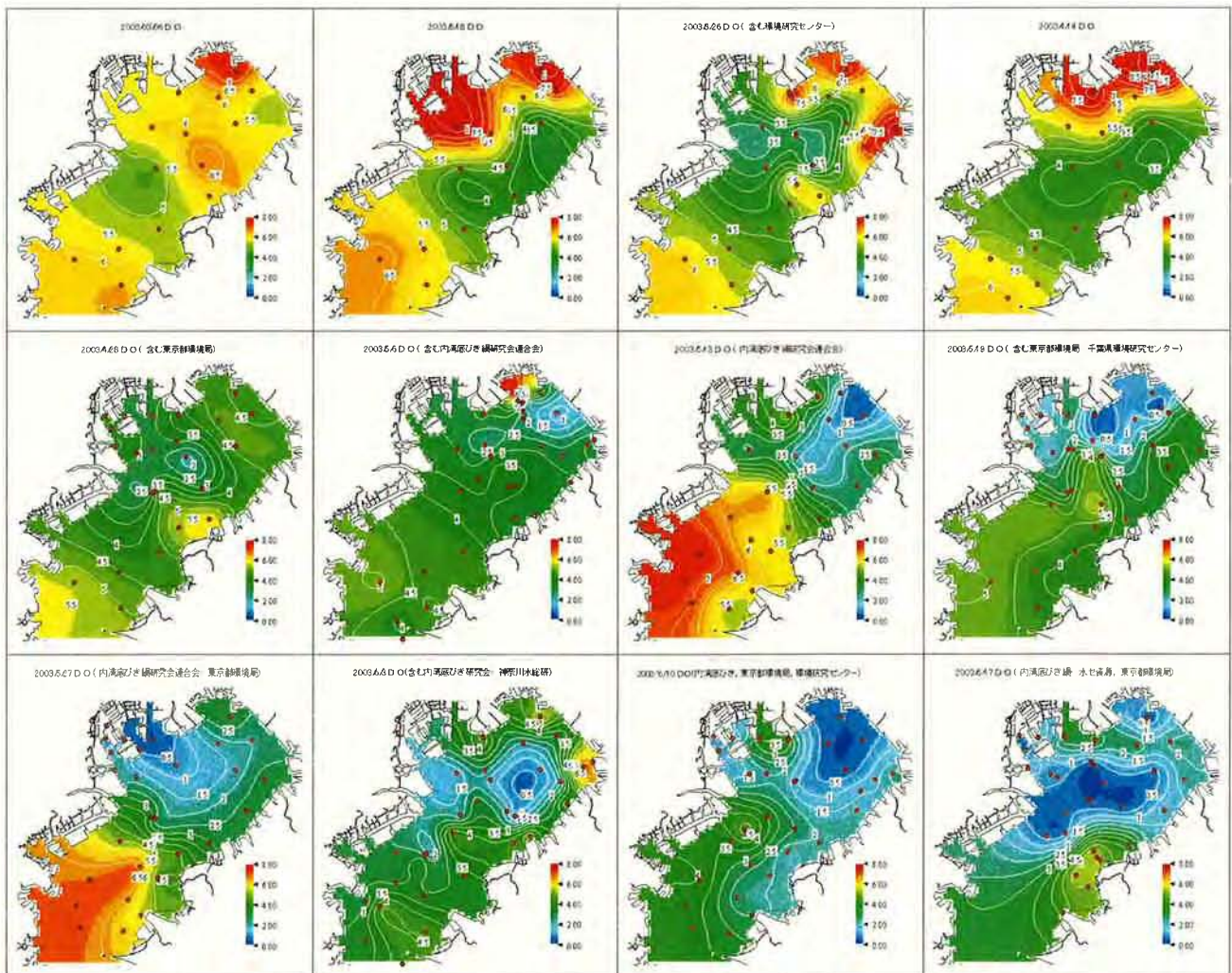


図1-1 平成15年の底層の溶存酸素量分布 (mg/L) 3月6日～6月17日

底層の溶存酸素量は底上1mで測定